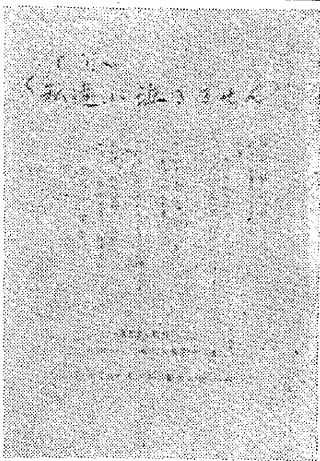


三池に行つて

話し合つて来よう

全電通労組小倉支部 大石 政之



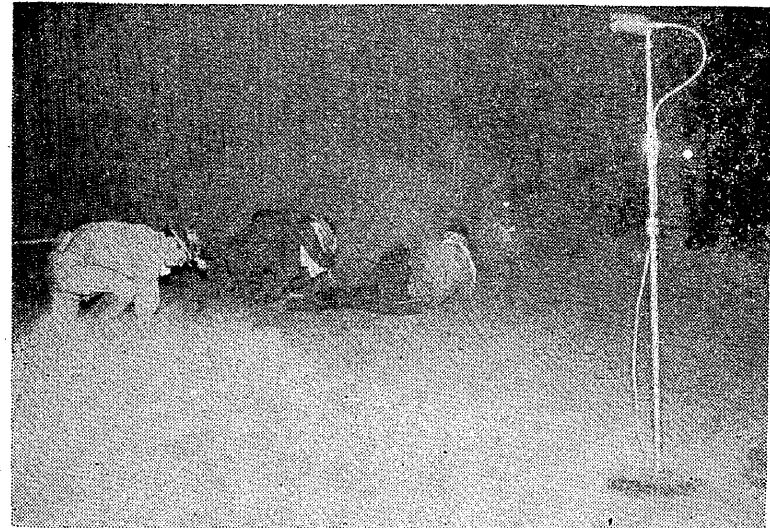
青石大石が、CO患者の会、小倉の会、年フレットの感想文を紹介する

私はCO患者を見て、果敢として、思考力をなくしてしまつた。どういふふうか書いてよいやうにCO中毒がどんなに恐ろしいものかを、宮島さんや愛川さんを見舞つてはじめて知つた。

人の話や、出版された本から、そんなものかと思つていたが、CO患者を見、家族の人たちと直接に接してみても耐えなかつた。

私は見舞いを済まして、でた。頭が痛い。どうしてだつた、のどがつまつたやうで、吐き気がした。宮島さんの姿は、本当に生き死なだといふ言葉がびたりびたりと、こんなことを書くかと思つた。すが、しかし宮島さんがこんな姿になつたのは誰がしたのか。これこそ独占資本のためで、その奴等のため政府はおどかさね、独占資本の手先になつて、われわれ労働者を弾圧・搾取している。それには法律、憲法をも改悪し、自分らの思うままにしようとしてゐる。これこそ資本主義の本當の姿が、宮島さんに覆いかぶさつたのである。

刑事上の責任の不起訴、CO患者の医療打ち切り、給食打ち切りそして特別立法の空文化。どれを見ても、それがいえるのではないか。

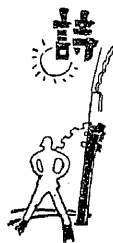


9日に市民会館で上演された合唱詩劇「三池の闘い」は、はるばるやつてきたCO調査団にも感銘を与えた。

CO中毒患者のからだを、元通りに返せ。

仲間を呼びかけよう、三池の実態を。そして三池に行つて、実態を見てくることを。話し合つてくることを。

できる限りカンパしよう。



こいつ
宮浦 平田光男

あいつは常にいつていた
一生のうちデッカイ事をして
死にたいと
どこかあいつは

編集部から
おねがい

▼現場新聞・地域新聞活動者のみなさん、大変ご苦労さんです。その後各新聞は、発行されているでしょうか。もし発行されていたら、どうかぜひ本部の編集部までご連絡をお願いします。

に、五、十部ずつお送りいただきたく思います。

なるべくお互いに広く交流し合い、学び合い、そしてますます面白く、内容の充実した新聞に発展させてゆきましよう。新聞をなかに、団結を固めましよう。

編集部

「三池大震災」というデッカイ事の下敷になつて死んだ

常識では考えられない炭塵爆発

それも日本一の炭鉱で

こいつは何時にもいつていた
どんな事があつても死ななかつた
ところがこいつは

果たしてガスを吸つても死ななかつた

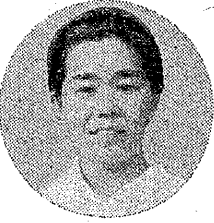
しかし

人として生きる全てを失つて人間ではなくなつた

こいつのおつかひは

こいつを唯一つの

頼りにしてゐた



港務

小北良栄さん

港務

段々畑のように

未来へ向けて

注文は朝寝坊だけ……

万年分会長

結婚してもうそろそろ十五年、はじめは娘の試験をうけるという頭張つていたあなたも、政治活動、労働運動に没頭していつのまにか分会長などをつとめるようになりました。

あなたは今年で四十才。私が三十六才で、二人の子とももうやうやく手がいらなくなつて、私も去年から仕事に専念した。

なれない仕事で、はじめはうんぶんつかれましたが、朝、弁当を三つづつて出勤するのがしきにも、ようやくなれました。

満勤でも手取り三万円というあなたの給料では、私もなかなか

闘争後はあなたも私も万年分会長で、子どもの相手もできず、長で、段々畑を少しずつ耕して上へいくやうに、私たちの運動もこつこつと前進しないのです。

子どもも朝寝坊

以前はやせていたあなたも、最近よく肥えています。それに合せたように、長期抵抗のなかで性

格が変つたのか、袖紐がたつたあなたが、すっかり怒りなくなりました。「カッ」とはしませんでした。けん」と、のんきなことをいっていましたが、それでも会社を抗議するときは、つい先頭に出て普の地金をまる出しにするときなどかえつたのもしいような気持ちでながめる私です。

地域の人から、大らかな雰囲気の家だ、といわれますが、それもそんな空気が反映しているのです。

注文といえは、たつたひとつです。朝寝坊で、いつもごはんをたべずに走つて出勤するのせだけはなしてくださいます。子どももつづいていませう。口の悪い職場の人が「良栄さんが寝ぼけとつとやう」といふそうです。この誤解だけは、ぜひとぎたいのです。

子どもも朝寝坊

以前はやせていたあなたも、最近よく肥えています。それに合せたように、長期抵抗のなかで性

にぎわつたつき展示会

このほど宮浦支部の、かねてはうす暗い図書室を、パーツと明るくする催しがあつた。

「つき展示会」がそれで、宮浦支部会(会員七十人)の腕自慢の人々がもちよつたものだけに、いずれも見事な花だつた。開けはこの種の展示会は、松、梅、さつぎと、年間に三回行なわれるとのこと。盆栽に興味をもつ人は、どしどし盆栽会に加入された。

さきほど四山支部でも、故久保清さんの八周年追悼盆栽展示会が開催され、色とりどりの盆栽が集まり、見る者の目を見はらせた。

日井地域分会(本所支部)の新聞、うすい、によると、この地域分会にも盆栽会があつて会員を募集して、「ご希望の方はどしどし入会下さい」と呼びかけている。

解説

見ます、ほほ次の通りです。

(1)保険料の引き上げ。現在の千分の六十五から、千分の七十二へ上げればならなくなるでしょう。これは、医師の側からしても問題にならないとはいへません。

(2)初診時の一部負担金の引き上げ。現在の百円を二百円に。

(3)入院時の一部負担金の引き上げ。現在の三十円を六十円に。

改悪のたくらみに対して総評は、

断じて阻止しよう

健保改悪のたくらみ

医者にもかかれなくなる

入院時の一部負担金引き上げは、まじたり、折角の治療も中断しなう少しへらせば認める」といふた、反労働者の態度をとっているのは、いふものことはいふ許されぬことです。

私たちはこの大切な問題に對して、いまだし関心を高め、佐藤内閣の悪ラツなたくらみを断じて阻止すべきです。

▼機関紙通信(十六日発行)により、健保改悪法案のほかに、出かせぎ農民の失業保険の打ち切りなどを含む失業保険法の改悪、石炭産業労働者三万五千人の首切りをねらう、石炭産業再建臨時措置法案といった、国民生活を破壊する重要法案がくつたのをならべて、国会の審議を待っています。情勢はいよいよ重大だといわなければなりません。

断じて阻止しよう

健保改悪のたくらみ

医者にもかかれなくなる

断じて阻止しよう

健保改悪のたくらみ

医者にもかかれなくなる

断じて阻止しよう

健保改悪のたくらみ

医者にもかかれなくなる

断じて阻止しよう

健保改悪のたくらみ

医者にもかかれなくなる